

II. 事業の趣旨・目的

Society5.0 時代、グローバル化の進展など急速な社会の変化が進む中で、新時代を切り拓く子どもたちには、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手として、予測不能な社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を確実に育成することが必要であるといわれている。

そうした中、教育の在り方にも大きな質的転換をもたらし、個々の児童生徒に最適な教育コンテンツの開発、教育データ分析を踏まえた効果的な指導等の先端技術を効果的に活用した学びや、SDGs、地域課題解決といった「社会に開かれた教育課程」の展開など、新たな学びとそれに対応した教材の充実が急務となる。こうした変化に適切に対応するためには、企業等において職業に関する高い技能や豊富な経験を有する者、アスリートや芸術家をはじめとする多様な学校外の人材を教育現場で活用することがこれまで以上に重要となる。

一方、長寿化に伴う「人生 100 年時代」が到来し、一人一人が自らの可能性を広げて様々なステージで活躍できるサイクルの実現が必要であることがいわれている。そうした中、本学では経験豊かな社会人やアスリート等が持つ専門的知識・技術、経験を活用して教育現場に貢献する取組を推進するため、ICT 等の先端技術に精通した企業や、地元のスポーツ団体と包括連携協定を締結した。

こうした状況を踏まえ、本学が令和 3 年 4 月に改組を行う新たな大学院(修士課程)では、先端技術に精通する企業人や、アスリート、芸術家など、優れた専門性を有する社会人を受入れ、教員以外の立場から教育現場の課題解決・価値創造の一翼を担う高度な人材を養成する。

さらに、修了生のうち教員としての資質・能力を有する人材においては、特別免許状制度を活用して、附属学校園で採用し、自らのキャリアで培った知識・技能、経験を生かして教育に参画できる仕組みを導入する。また、これら実績を積み上げ、成果が得られた段階で、公教育においても専門職人材を効率的・弾力的に活用できるよう構想している。

ただし、上述の各専門分野で活躍する社会人等においては、優れた専門的知識・能力、経験を有するものの、授業を構成する能力、教材開発力、学習指導力などについては十分には備えていないことが容易に想像でき、これらの力量やマインドの育成が課題と捉えている。

このような課題を見据え、本事業では、一定期間、様々な専門分野で活躍する社会人など専門的な知識・技能を有する外部人材を学校現場に受入れ、同人材による授業見学や授業実践の検証・分析を通じて、外部人材が教員として学校現場に参画するための能力育成方策や、外部人材を効果的に活用するための方策をまとめ提示することを目的とする。

なお、本事業の成果をベースに、上述の新たな大学院の「教育ファシリテーションコース」におけるカリキュラムに反映させるとともに、教職を志す社会人対象の研修プログラムを開発し、教育委員会や学校現場への実装につなげることを目的とする。